

## 矢上川地下調節池施工技術検討会 設立趣旨書

矢上川は、川崎市宮前区菅生にその源を発し、川崎市の西部を南下して鶴見川に合流する延長 7.9km、流域面積 25.2km<sup>2</sup> の一級河川であり、1 時間に約 60mm の降雨への対策として、洪水の軽減を目的とした洪水調節施設を河川整備計画に位置づけ、平成 21 年度から矢上川地下調節池事業に着手している。

本事業では、令和 2 年度までに発進立坑と中間立坑が完成しており、今後、地下トンネルをシールド工法により施工する予定であるが、地下トンネルは工事範囲が広範囲となるほか、近年、シールドトンネル工事の影響による地盤沈下等の事象が発生していることから、工事に伴う周辺環境への影響や、施工時に想定される課題及び対策等について事前に検討することが不可欠である。

このため、シールド工法による地下トンネルの施工に関する技術的な検討を行うことを目的として「矢上川地下調節池施工技術検討会」を設置するものである。

神奈川県横浜川崎治水事務所  
川崎治水センター